

第75話 スタジオ夜話 (番外編)

サウンドドラマの制作 (まとめⅡ)

☆ はじめに

7月の声を聞くともうそこは「夏」です。読者皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。最近では気象など異常なことが多く気になる時代になっているようです。地球の長い歴史の中でどうのこうの言うつもりはないのですが、自分たち出来る「何か」を意識して暮らそうと思っています。最近スーパーやコンビニではマイエコバックなんかを用意していたり・・・(笑)。

さて今回は番外編サウンドドラマ制作の(まとめⅡ)です。以前2015年12月号の番外編では目次的にスタジオ夜話をふりかえり、まとめています。今回はその号と重なる部分もありますが、番外編サウンドドラマ制作の総目次にしてみました。サウンドドラマ制作のインデックス代わりにお使いください。

☆スタジオ夜話番外編

「サウンドドラマ制作」総目次前号でもお話ししました。番外編はスタジオ夜話の9話が第一回となります。

番外編 1) 2014年01月 VOL.172

「サウンドドラマの可能性」サウンドドラマの可能性をかつての音創りを踏まえ、今日的な制作技法などを解説しました。

番外編 2) 2014年02月 VOL.173

サウンドドラマ制作の技法など2回目として更に詳しく解説しています。

番外編 3) 2014年03月 VOL.174

この回では具体的にシュチエーション設定した台本の一部を参考に、制作する作品のSN比やダイナミックレンジとの関係をお話しました。

番外編 4) 2014年04月 VOL.175

番外編の第4回目ではモノラルとステレオでの比較その台詞収録の具体例などを紹介しました。役者さんのマイクロフォンの使い方などが重要なポイントであることなどを解説しました。

番外編 5) 2014年05月 VOL.176

番外編4のモノラルとステレオの比較に加え、更に具体的制作上のポイントを解説。音量調整するエンジニアに加えて、定位などをコントロールするディレクションミキサーの重要性も解説しました。

番外編 6) 2014年06月 VOL.177

番外編1～5までがサウンドドラマ制作のイントロダクションになります。番外編6ではサウンドドラマ制作は技術、演出といった分類? ではない考え方、また「音」そのものにかかわる考え方、音の意味的分類などサウンドドラマ制作に関わるクリエイターが本来意識しなくてはならないことをお話しました。

番外編 7) 2014年07月 VOL.178

前回の番外編6に引き続きサウンドドラマ制作「音」に関わる問題意識の解説です。番外編6、7と理屈的なお話になりましたが押さえておかななくてはならないお話です。

番外編 8) 2014年08月 VOL.179

番外編2で少しお話しした「この指とまれ!」・・・的な考えを思い出してこの回は脚本と具体的音制作の関係について制作例を基にお話しました。脚本では具体的な音を表現しているの? 的な問題にもふれています。

番外編 9) 2014年09月 VOL.180

具体的な音制作のアプローチのお話でした。シンセサイザーやアナログテープレコーダーを今更使った方法など創意工夫のお話

でした。今日的制作でも機材を持っていれば十二分に活躍します。DTMについてもお話ししました。

番外編 10) 2014年10月 VOL.181

前号でMIDIトラックのお話をしました。この回はサウンドドラマ制作の上での時間軸上の話をSMPTE的にとらえるのではなく音楽的にといった感覚を大切にしよう的なお話でした。テンポと時間など小学校の音楽のお話が大切ですよといった話でした。

番外編 11) 2014年12月 VOL.183

サウンドドラマの聴かれ方、提供媒体の問題や今後の課題や可能性についてのお話でした。直接的な制作についてのお話ではありませんが押さえておきたいものの一つです。

番外編 12) 2015年01月 VOL.184

ダイナミックレンジを意識した制作手法の考え方、ノイズに対する考え方、ハイレゾに対する苦言? など古い技術と新しい技術の狭間に見る考え方などのお話でした。

番外編 13) 2015年02月 VOL.185

サウンドドラマの聴かれ方、ヘッドホンには可能性がいっぱいあるというお話。

バイノーラル録音も有り、5.1サラウンド表現もエンコードできます的な話でした。最近の夜話ではY社による全方位定位をヘッドホンで実現できるお話もしました。

番外編 14) 2015年03月 VOL.186

サウンドドラマの聴かれ方を考えた収録の方法を図解して説明しました。特に台詞の収録についてのお話を中心でした。

番外編 15) 2015年04月 VOL.187

前回の続きです。基本的な台詞収録のマイクロフォンセッティングについてその詳

スタジオ夜話

細について図解で説明しています。マイクロフォンワークも考えたお話でした。

番外編 16) 2015年05月 VOL.188

前回の続きです。定位感を中心にリスニングの環境を考えた収録について前回同様図解を中心にお話をしました。

番外編 17) 2015年06月 VOL.189

台詞収録でのマイクロフォンセッティングについて写真で分かり易く解説をしました。前回までのセッティング解説が実際の写真で見ることができます。

番外編 18) 2015年07月 VOL.190

実はとても大切なお話でした。サウンドドラマ制作での「インサイドワーク」というお話です。写真を多く使い説明しました。是非再読してください。

番外編 19) 2015年08月 VOL.191

サウンドドラマの制作 19「効果音って何？」演出家、脚本家、サウンドクリエイターが考える効果音についてお話をし、「リアル」か「リアリティ」かを問題にした効果音についてのお話でした。

番外編 20) 2015年09月 VOL.192

効果音制作に欠かせない専用スタジオを紹介しました。写真からその具体的使用方法が想像できます。

番外編 21) 2015年10月 VOL.193

スタジオ収録時に台詞や効果音に動き(移動感)を付ける。写真と図解説明で解説しました。図解説明ではかつてのON移動を丁寧に説明しています。

番外編 22) 2015年12月 VOL.195

これまでの夜話目次号です。一応番外編

番外編 23) 2016年01月 VOL.196

サウンドドラマ制作の基本、を制作手順や作業をカテゴリーに分類、その取り組み方などを再確認するお話でした。

番外編 24) 2016年02月 VOL.197

年明けの号では基本的なサウンドドラマ制作の手順などお話をしましたが、「音」制作に関わる人には是非とも理解しておきたい屁理屈? がいくつかあります。その屁理屈の解説号でした。

番外編 25) 2016年03月 VOL.198

前号で屁理屈を言い足らなかったのでこの号でも屁理屈的なお話をしています。

番外編 26) 2016年04月 VOL.199

サウンドドラマ制作、音の入り口、今でも所有していれば役に立つ、効果音制作ツールの代表、アナログシンセサイザーを特集しました。応用次第では今でも十分に役に立つツールです。

番外編 27) 2016年05月 VOL.200

前は効果音制作ツールとしてアナログシンセサイザーを紹介しました。この号ではデジタル効果音制作機? フェアライトの出現、ハードディスクレコーダー、デジタルミキサーの出現とサウンドドラマ制作での利用についてのお話でした。今日的制作現場の「はじめの一步」です。

番外編 28) 2016年06月 VOL.201

サウンドドラマ制作に必要な音楽(劇伴)制作のための音楽制作のお話でした。第一回は楽器そのものや編成についての基礎的なお話でした。

番外編 29) 2016年07月 VOL.202

サウンドドラマ制作に必要な音楽(劇伴)制作のための音楽制作のお話でした。効果音にも多用する打楽器を紹介しました。写真で解説しています。

番外編 30) 2016年08月 VOL.203

サウンドドラマ制作に必要な音楽(劇伴)制作のための音楽制作のお話でした。管楽器(木管)を解説しています。

番外編 31) 2016年11月 VOL.206

サウンドドラマ制作に必要な音楽(劇伴)

制作のための音楽制作のお話でした。管楽器(金管)解説しています。

番外編 32) 2016年12月 VOL.207

サウンドドラマ制作に必要な音楽(劇伴)制作のための音楽制作のお話でした。弦楽器を写真付きで解説しています。

番外編 33) 2017年01月 VOL.208

番外編 15 で基本的な台詞収録のマイクロフォンセッティングについて説明しています。この回では実際のマイクロフォンワークを写真を使って解説しました。

番外編 34) 2017年02月 VOL.209

前号の続きです。より詳細を図解と写真でマイクロフォンセッティングやワークを解説しています。

番外編 35) 2017年03月 VOL.210

サウンドドラマ制作での録音時に於ける音量レベルについてのお話です。普通の放送などの音量レベルと比較しながら解説しています。

番外編 36) 2017年04月 VOL.211

収録用マイクロフォンの基本のお話でした。サウンドドラマ制作では主としてその指向性などが問題となります。基礎ですのでもう一度おさらいしておきましょう。

番外編 37) 2017年05月 VOL.212

スタジオでの効果音収録、自作便利ツールの紹介でした。創意工夫で音を収録するこんな道具を作っておけば的なお話でした。たまにはDIYもGood!

番外編 38) 2017年06月 VOL.213

サウンドドラマ制作収録時のマイクロフォンの扱いは三つ。アレンジメント、セッティング、マイクロフォンワークというお話でした。

番外編 39) 2017年07月 VOL.214

サウンドドラマ制作ツール、音声調整卓

の基本的お話でした。

番外編 40) 2017年08月 VOL.215

音声調整卓の基本操作機能をパート別にまとめ図解説明しました。

番外編 41) 2017年09月 VOL.216

音声調整卓の操作機能、オートメーションなどを解説。サウンドドラマ制作への応用などのお話でした。

番外編 42) 2017年10月 VOL.217

音声調整卓の操作を意識してフェーダーの扱いなどを解説。作品創りでフェーディングは微妙で工夫が必要です。

番外編 43) 2017年11月 VOL.218

音声調整卓の操作を意識してフェーダーの扱いなどを解説。2回目です。より細かく説明しました。

番外編 44) 2017年12月 VOL.219

ちょっと制作の話から話がそれました。業務用機器と民生用との関係をお話しました。機材の進歩は著しく、映像関係でもかつてのNTSCを遥かに凌駕するスマホの4K、民生用です。いまや区別はナンセンスなのかも？

番外編 45) 2018年01月 VOL.220

音声調整卓の操作機能、オートメーションなどのお話、DAWについてお話やファイル管理やサラウンドエンコーダーの解説もしました。

番外編 46) 2018年02月 VOL.221

制作現場のモニタリング環境とリスナー記録再生可能な音、不可能な音、モニタリングでの音量設定などのお話でした。

番外編 47) 2018年03月 VOL.222

デジタル時代の録音レンジについてその有効な範囲やサウンドドラマ制作にとって都合良い録音レンジのお話でした。

番外編 48) 2018年04月 VOL.223

サウンドドラマ制作に於けるミキシング

エンジニアのお話でした。エンジニアは技術ではない演出家という要素も必要です。

番外編 49) 2018年05月 VOL.224

聞こえない音が聞こえる。音のバリエーション。CMの音が面白いといった角度を変えたお話でした。これもまたサウンドドラマ制作には必要なお話と思います。

番外編 50) 2018年06月 VOL.225

サウンドドラマ制作シチュエーション設定とミキシング作業、そのアプローチ方法を具体的に説明しました。設定リストを用いた制作が重要なポイントになります。

番外編 51) 2018年07月 VOL.226

前号に引き続き音創りの具体的アプローチを解説、リストや参考図の必要性に併せて台本のスタイルなども考える必要があることなど写真を例にお話しました。

番外編 52) 2018年08月 VOL.227

音の世界、映画は凄い！ではサウンドドラマはどこが凄いの？ といった話題。サウンドドラマ制作に求められるエンジニアとはそんなお話でした。

番外編 53) 2018年09月 VOL.228

音の創り込みって何、その説明とアプローチの方法を説明しています。基本中の基本是非この機会に再読してください。

番外編 54) 2018年10月 VOL.229

音の創り込みって何、その説明とアプローチの方法を説明しています。第2回目です。図解が詳しく掲載してあります。基本中の基本ここも再読してください。

番外編 55) 2018年11月 VOL.230

サラウンドでの制作を意識して具体的素材制作のテクニックについてお話しました。図解説明が分かり易い例として掲載。

番外編 56) 2018年12月 VOL.231

音素材の具体的創り込みのお話でした。DAWの画面を使った具体的解説を中心に

しました。

番外編 57) 2019年01月 VOL.232

サウンドドラマの聴かれ方環境のお話、定位関係についてのお話でした。

番外編 58) 2019年02月 VOL.233

音素材の具体的創り込みのお話です。第5回目でした。スピーカー再生、ヘッドホン再生などを比較、空間表現の様子を表にまとめてみました。

番外編 59) 2019年03月 VOL.234

サウンドドラマ制作での空間表現、制作での具体的作業はこの空間創りです。号が前後しますが重複しながらでも再読してください。

番外編 60) 2019年04月 VOL.235

サウンドドラマ制作での空間表現を様々な表にまとめてみました。表での設定に注目しながらの表現について解説しています。

番外編 61) 2019年05月 VOL.236

サウンドドラマ制作での表現空間を様々な表にまとめてみました。そこでの設定図表3に注目しながらの表現についてかなり具体的に解説しています。

番外編 62) 2019年06月 VOL.237

番外編のまとめにはいりました。

☆次回は

今回のスタジオ夜話番外編「サウンドドラマ制作」はいままでの番外編を目次を追って整理しました。

次回は「番外編ありがとうございました」とスタジオ夜話オリジナル第43話2016年10月「日本人の美意識と音II」以来のお話になります。うっとおしい季節がまだつづきますが読者皆様のご健康を願っています。